

一般社団法人新技術協会からの研修会開催のご案内

平成30年2月

各 位

一般社団法人 新技術協会
会 長 増本 健



『これからの企業マネジメント方策を探る経営研修会』

～2018年以降の確実な未来群とそれらがもたらす脅威と好機を峻別し、
それらを新規事業の機会にするための、これからの企業マネジメント方策を探る～

今年は、例年とは異なり日本も世界も大変に波乱含みの急激な環境変化の中にあり、とりわけ、想定外と言われる事象の多発やグローバルな世界各国間の相互依存関係が様変わりすることも予想されています。

さらに、日本は日本独自の社会環境の急変、とりわけ少子高齢化がもたらす社会変化への対応が深刻な課題となっております。しかも、それらの変化の内容は革命的で、かつ、変化のスピードは加速度的であることが特徴です。このような諸問題は、これからの企業経営に未経験の新たな脅威と好機をもたらすものと思われまます。

そこで、その問題意識を持って、2018年以降の日本や世界並びに企業経営等の状況を総括して、今後の対応について考えてみたいと思います。

具体的には、研究開発の総括責任者や研究開発を実施しておりますグループ長の方などを対象とし、脅威と好機への対応についての課題を分析し、問題の本質をとらえて好機を先取りしていく方策を考える研修会を企画いたしました。

この研修会は、永年にわたり当協会の研修会の講師をお願いしております飯沼光夫先生(千葉商科大学・名誉教授)に企画をしていただき、別紙プログラムにあります内容で実施することといたしました。

毎回、参加者相互の討議と意見交換を深めて、それぞれの企業にとって有意義な実践に役立てていただきたいと思います。

是非とも、企業各社の多数の皆様のご参加をお待ちしております。

【実施要領】

1. 期 間 : 平成30年4月～平成30年10月 (全7回)
第1回 開催 平成30年4月24日 (火)
毎月1回 (原則として第4火曜日開催)
2. 開催時間 : 14時～17時 (3時間)
講義 : 2時間30分
討議 : 30分
3. 会 場 : 科学技術振興機構 (JST) 東京本部
東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ
4. 資 料 : 毎回講義資料や参考資料を配布いたします。
5. 参加費 : 1名につき15万円 (全7回)
(申込後、新技術協会より請求書をお送りさせていただきますので、
指定の口座へお振り込みをお願い致します。)
6. 募集締切 : 平成30年3月31日
7. 申 込 先 : 一般社団法人 新技術協会
担当 : 山口和雄 中里京子
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24
湯島ベアールビル9階
TEL 03-3868-2077 / FAX 03-3868-2050
Eメール shingikyou@shingikyou.or.jp

【講師略歴】

飯沼光夫 千葉商科大学名誉教授

1959年 東京都立大学(現首都大学東京) 工学部工業化学科(電気化学専攻)卒業

1963年 産業能率短期大学 生産能率科(生産管理士)卒業

この間 横浜ゴム、三菱電機製作所(電子部品)で技術開発・商品開発業務に従事

1971年 社団法人科学技術と経済の会に奉職、調査部長

1974年に技術経営会議(議長 小林宏治NEC社長)を創設後、事務局長に就任し、
会員企業の協力を得て技術経営に関する調査研究を多数実施、その成果の普及に努めた。

1986年 千葉商科大学商経学部・大学院商学研究科に移り、経営学科の専門科目である『管理工学』、
『意思決定論』、『情報資源管理論』、『産業技術史論』を担当した。その間に、商経学部経営学科長を務める。

2007年 千葉商科大学退官後、名誉教授に就任。

飯沼光夫氏は、当協会前身の新技术懇談会から、講演会やセミナーの講師や受託調査研究などの調査研究員として活躍している。

また、科学技術会議専門委員や市川市行財政改革懇話会会長など公的機関の委員などを閲歴している。

著書には、

『シナリオライティング入門』(日本能率協会)

『新規事業開発のための情報収集と活用法』(日本能率協会)

『シナリオライティング法による経営プランニング・ガイド』(日本能率協会)

『情報経済論』(共著・有斐閣)

『企画の基本』(共著・日本能率協会)

『技術者の動機づけ』(共著・マネジメント社)

『ハイテクノロジー・マネジメント』(共著・日刊工業新聞社)など。

その他著書、論文、講演など多数。

『これからの企業マネジメント方策を探る経営研修会』 (全7回)

～2018年以降の確実な未来群とそれらがもたらす脅威と好機を峻別し、
それらを新規事業の機会にするための、これからの企業マネジメント方策を探る～

プログラム

講師：飯沼光夫（千葉商科大学名誉教授）

第1回講座： 4月24日(火) 14時～17時

参加者と講師により、これからの討論課題に対する期待とそれぞれの問題意識等についてフリートークを行う。(終了後、懇親会を開催予定)

第2回講座： 5月22日(火) 14時～17時

2018年以降の世界の確実な未来と想定外の未来はなにか。

米国トランプ大統領の誕生が、近年、最大の想定外な出来事であった。最側近のバノン氏（元主席戦略官）の政権暴露本『炎と怒り(FIRE AND FURY)』が話題となった。トランプ氏の予測不能と言われる言動で世界が揺れている。また、世界経済の面では、いまやアフリカが経済成長の兆しを見せている。一方、地球温暖化等の地球規模の深刻な危機も迫っている。これらを脅威と捉えるか、好機と捉えるかが問題である。

*キーワード：トランプ政権と北朝鮮、世界経済の中の中国・インド・アフリカ、テロ、分断と対立、宗教対立、難民、移民、新興国の経済成長、地球温暖化、大規模サイバーテロなど。

第3回講座： 6月26日(火) 14時～17時

2018年以降の日本の確実な未来と想定外の未来は何か。

地球全体で見れば、全人口規模は急速な拡大傾向にあるが、日本は全く逆の人口の急減少とそれに伴う少子高齢化が、深刻な社会・経済・政策課題を提起している。これらの課題は、速く手を打たないと手遅れになる危惧がある。しかし、これらの問題を解決していくには、我が国の伝統的な社会制度や仕事に対する価値観等を根本的に変えていかなければならない。

*キーワード：少子高齢化、介護離職、高齢一人暮らしの急増、過労死、医療・介護行政の破綻、地方自治体の破綻、私立大学の経営破綻、科学技術力の低下、教育制度と教育カリキュラムの見直しなど。

第4回講座： 7月24日(火) 14時～17時

2018年以降の日本の確実な未来と想定外の未来は何か。

つながる技術と、人工知能などの想像を超えた急進展と、新しいニーズの発見と、それを新規事業にする多数のベンチャーの立ち上げが構想されている。そのための投資ファンドの存在や新規株式公開（IPO）が期待されている。

一方、限られた人しか使えなかった有用情報の偏在の時代から、誰でも、いつでも、何処にいても、速く、手軽に有用情報の利用ができる情報遍在の時代の中で、“新規企業の無限のチャンス”を生んでいる。

*キーワード：IoT、深層学習AI、ビッグデータ、クラウド、5G(第5世代)通信技術、ロボット、ドローン、センサー、ビットコイン、サイバーテロ、情報セキュリティ、自動運転車と電気自動車、iPS細胞による再生医療、ゲノム編集医療など。

第5回講座： 8月28日(火) 14時～17時

激変するグローバルな社会経済状況と想定外のようなビジネス・チャンスが現れる中で、時代の先端を行く新規事業で企業経営を発展的に継続させていくには、これまでのような経営常識と業界常識に縛られていたのでは成果は上がらない。どうしても経営のあらゆる面で多様性（ダイバーシティ）のあるマネジメントが不可欠となる。とりわけ、進展スピードの速い先端情報技術と少しずつ磨きあげていくようなところがあるものづくり技術の進展との圧倒的違いを認識して、タイミングの良い意思決定をしていかなければならない。そのための経営戦略として合従連衡（がっしょうれんこう）型の戦略が必須となってくる。

* キーワード：働き方の再検討、年功序列制度、停年制、女性の結婚・子育てと両立出来る働き方、同一労働・同一賃金、外国人の採用、社外取締役制度の活用、M&Aと合従連衡型の戦略の活用、企業会計制度（日本の企業会計制度、米国企業会計制度、国際会計制度）の選択など

第6回講座： 9月25日(火) 14時～17時

ダイバーシティ・マネジメントを不可欠とするこれからの企業経営者にとって、必要不可欠な経営能力は、全てのステークホルダーズに分かりやすく説得力のある経営理念の標榜とリーダーシップの発揮である。しかし、これは「言うは易く行うは難し」である。

その難しさを具体的に示しているのが、ここ3年ほど世界的にも継続的に多発している大手名門企業の『企業不祥事』である。

これらを教訓として、この激動の時代に成長企業として生きていく方策を考える。

* キーワード：ステークホルダーズ、夢のあるビジョン、説得力のある経営理念、リーダーシップの発揮の仕方、5つの気（元気・やる気、根気、負けん気、本気）の実践、三現主義（現場、現実、現物）の徹底など

第7回講座： 10月23日(火) 14時～17時

この講座で得た知識と見識、また疑問・質問などを基に、これからの業務に反映していただくために参加者相互で意見交換を行う。（終了後、懇親会を開催予定）

平成 年 月 日

一般社団法人新技術協会 行

Email : shingikyou@shingikyou.or.jp

F A X : 0 3 - 3 8 6 8 - 2 0 5 0

「これからの企業マネジメント方策を探る経営研修会」

参加申込書

フリガナ

御社名 :

所在地 : 〒

所属・役職名 :

フリガナ

御出席者名 :

TEL/FAX :

/

E-MAIL :

研修会への参加を推薦された方の役職・氏名 :

所属 :

役職 :

氏名 :